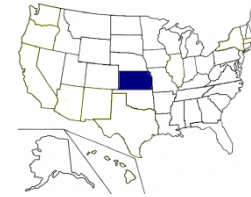


面積: 213,096平方キロ

(日本の本州より若干小さい)(全米50州中15位)
人口: 2,977,220人(2025年国勢調査推計値)(全米35位)
(白人85%, 黒人6%, ヒスパニック14%, アジア3%)
(2025年国勢調査推計値))

州都: Topeka 愛称: Wheat State

カンザス州概要



令和8年3月現在
在シカゴ総領事館

政治

【州政治】

- 知事: ローラ・ケリー(Laura Kelly)(民)
2019年1月就任、現在2期目
- 議会構成: 二院制
上院議席数 40 民主党 9 共和党31
下院議席数125 民主党37 共和党87 空席1
- 内政状況:

カンザス州は伝統的に共和党が強く、大統領選では1968年以降共和党候補が勝利。2024年選挙でも同党が勝利した。また、連邦上院議員も2議席とも1932年来共和党議員が占める。

一方、知事職については民主党のケリー知事が2期目を務めている。2018年に大接戦の末にトランプ大統領に近い超保守派のコーバック州務長官(共)を制して当選後、共和党に追い風が吹くといわれていた2022年中間選挙でも、好調な州経済、共和党穏健派有力者からの支持取り付け、潤沢な選挙資金、投資誘致実績をアピールして再選された。ただし、2026年の知事選挙には任期制限で出馬できないため、同選挙はオープンシートを争う闘いとなる。

シャリース・デイビズ連邦下院議員(民)は、2022年中間選挙にて共和党有利の選挙区再編の影響下でも、中絶権保護を訴え大差で再選し、2024年選挙でも超党派の議員としての活動をアピールし、州唯一の民主党の連邦議席を確保している。

【連邦政治】

- 大統領選挙人数: 6名
- 2024年大統領選挙における勝利政党:
共和党(得票率57.2%)
- 連邦上院議員
ジェリー・モーラン(Jerry Moran)(共)
ロジャー・マーシャル(Roger Marshall)(共)
※本年、マーシャル議員の議席が改選対象
- 連邦下院議員(議席数4名)
民主党1名 共和党3名

経済

【州経済】

- 主要産業: 製造業(航空機, 食料)、不動産、小売業
・農業: 穀物(冬小麦等)、畜産(牛)¹
- GDP: 2,450億ドル(2025年)¹
- 1人当たり個人所得: 70,506ドル(2025年)¹
- 失業率: 3.8%(2025年12月)²
- 輸出額: 14,642百万ドル(2025年)³
- 主要輸出品目: 輸送用機器、加工食品、農産物、電算電子機器、化学製品³
- 輸出相手国(2025年):³
メキシコ(26%)、カナダ(16%)、日本(6%)、ドイツ(4%)、韓国(4%)
- 財政: (2023年度)³
歳入: 27,508百万ドル
歳出: 25,840百万ドル
債務残高: 7,284百万ドル
- 経済状況
カンザス州は、米国を代表する小麦(全米2位)と牛肉(同3位)の生産州である⁴。製粉・食品加工等の農畜産物関連事業も盛ん。ウィチタ市を中心とした航空機産業、特に小型自家用機生産はにおいて全米最大級の規模を誇る。2025年7月、パナソニックエナジーはデソト市に投資総額40億ドルのEV用バッテリー工場を開所した。

【対日経済】

- 対日輸入額: 1,476百万ドル(2025年)³
- 主要輸入品目: 一般機械、輸送用機器、電子電算機器³
- 対日輸出額: 916百万ドル(2025年)³
- 主要輸出品目: 加工食品、輸送用機器、電算電子機器³
- 日系企業の進出数/雇用数:
69事業所/ 5,869人(2025年)⁵
- 州駐日事務所なし(閉鎖)、日米中西部会には2012年に脱退後、2018年に復帰

出典: 1: Bureau of Economic Analysis, 2: Bureau of Labor Statistics, 3: U.S. Census Bureau, 4: U.S. Department of Agriculture, 5: Consulate-General of Japan in Chicago

日本との関係

【要人往来】

(往) 日米中西部会出席のため、知事または副知事が訪日(04年9月 セベリウス知事 07年9月 パーキンソン副知事 23年9月 ケリー知事、25年9月 トーランド副知事)。(来) 2011年10月 平塚市長一行が姉妹都市提携20周年記念事業のためローレンス市に來訪。

【文化・広報関係】

米国中部日米協会(ミズーリ州とカンザス州をまたぐカンザスシティ)が活発に活動(1962年創設)。同協会は、毎年秋に数千人規模の日本祭を開催。3月には日本語コンテストを開催。

カンザス大学は東アジア研究センターを有し、幅広い日本研究が行われている。州内フォートレブンワース市には、アメリカ陸軍指揮幕僚大学があり、陸上自衛隊から留学生等を受け入れている。

ローレンス市のフレンドシップパーク内に日本庭園がある他、2020年8月、トピカ市でも元州最高裁判長官が私財を投じ日本庭園開園。

【日本人学校・補習校数】

補習校1校(レネクサ)

【姉妹都市関係(3)】

小美玉市(旧美野里町)(茨城県)―アビリン
平塚市(神奈川県)―ローレンス
近江八幡市(滋賀県)―レブンワース

【名誉領事】

ジェームズ・サトシ・カンキ(ミズーリ州カンザスシティ及びカンザス州カンザスシティ)

【国際交流基金日米草の根交流コーディネーター】

河下未歩(～2026年7月: ジョンソン群コミュニティカレッジ派遣)